

### 輸送 イタリアのインターシティは維持・改善される

原題：Intercity performance contract signed  
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.10 (2017-10) pp.64-64

トレンタリアは2017年7月31日に中長距離のインターシティ列車の運行を引き続き今後10年間行う契約を運輸省および経済・財政省と結びました。インターシティは現在、デイトムの列車88本と夜行列車20本に加え、週末にさらに10本が運転されています。これは国の施策として、高速列車と比べて安く乗車できるインターシティの維持が社会的に必要であるという認識によるものです。トレンタリアは国の補助がなければ、4割の列車は運休せざるを得ないと述べています。今回の契約により列車キロで7%増発され、デイトムの列車の提供する座席数は16%増えます。夜行列車は需要に合わせて見直しが行われます。また、客車53両に運転台を設けて制御客車とし、E402A機関車40両と組み合わせたプッシュプル運転を可能にします。8月2日からローマ〜サレルノ間でプッシュプルのインターシティが営業運転を開始しました。また、客車の火災対策の強化、防犯カメラやコンセンとの取り付けも行われます。



出典:Railway Gazette International

運転台を取り付けプッシュプル運転が可能になった制御客車

### 安全 ゴットルドベーストンネルの安全コンセプト

原題：Sicherheitskonzept im Gotthard-Basistunnel  
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.68 No.11 (2017-11) pp.6-11



出典:Eisenbahningenieur

2つの単線トンネル構成されたゴットルドベーストンネル



出典:Eisenbahningenieur

トンネル北端のエルストフェルトに駐在する消防救助列車LRZ 14

安全性を最優先するSBB (スイス連邦鉄道)の安全コンセプトに関して、ゴットルドベーストンネルにおける取り組み事例を紹介します。17年間の建設期間を要した、延長57kmの世界最長の鉄道トンネルが2016年に正式にオープンし、多くの利用客を迎えています。革新的な技術を活用したトンネル建設は、その独特の特徴に加えて、新たに進化した安全コンセプトと新しく開発された消防救助列車の両面において魅力的です。

### 情報通信 低コストの列車制御は地域の運営を強化する

原題：Low-cost train control enhances regional operations  
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.11 (2017-11) pp.35-38

オーストラリアのニューサウスウェールズ州の支線の管理を民間コンセッションア(運営を許可された民間事業者)に外部委託することで、公共の携帯電話網を使用した無線ベースの列車制御の導入を含む業務効率化を促進しています。JHR (ジョンホランド鉄道)は州政府から、乗客と貨物列車を安全かつ確実に運行できるように、効率的かつ費用対効果の高い方法でネットワークを維持し、運用することを任されています。同州のCRN (地域ネットワーク)で作業する鉄道担当者の安全性を向上させるために設計された、新しい携帯電話アプリケーションを発表しました。CRNのCBTC (コンピュータベースの列車制御システム)にリンクされているETW統合トラックワーク保護アプリケーションは、JHRとそのテクニカルシステム・



衛星通信と地上通信を使用して地域ネットワークをサポートするジョンホランド鉄道

プロバイダーである4Tel Pty社によって、徐々に展開されてきた最新の作業手順を開発するプロセスのもう一つのステップです。

### 輸送 世紀の大工事—パリメトロの大拡張

原題：Project of a generation: Grand Paris Express  
誌名：MRI：Metro Report International Vol.31 No.2 (2017-10) pp.22-25

パリで新たに200kmの地下鉄を建設し、ネットワークを郊外に拡大する大プロジェクトが進んでいます。68の新駅ができ、長期的にはパリの人口とGDPを増やす予定です。最初に着工した14号線の北部への延伸は2~3年後に完成予定で、2030年にプロジェクトの全面完成をめざしています。2024年のパリオリンピック開催が決まり、このときまでに相当数の路線を完成させる



出典:Metoro Report International

フランス国鉄との乗換駅となるパリメトロ新駅の工事

予定です。多くの新線は架空線方式ですが、一部では第三軌条方式を採用します。すべての新線はゴムタイヤではなく、鉄車輪方式です。来年度には車両の発注が予定されています。



WRT (海外鉄道技術情報)は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。  
⇒ 新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。  
⇒ 問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp